

# 臨海部防災拠点マニュアルの改訂

- 阪神・淡路大震災を踏まえ、平成9年に臨海部防災拠点マニュアルを策定。臨海部の特性を踏まえた防災拠点の基本的な考え方(必要施設や施設別規模等)を示すことで、その整備を推進してきた。
- 同マニュアル策定後約20年が経過。近年の防災政策や港湾政策の変化に対応するとともに、東日本大震災等をはじめとした様々な災害からの教訓をふまえつつ、臨海部防災拠点マニュアルを改訂。
- 地域の防災ニーズや港湾ごとの特性をふまえた防災拠点となるよう計画の考え方を見直すとともに、防災訓練・災害協定等の平時からの取り組みや、津波に備えた取り組み、老朽化をふまえた適切な維持管理等、管理・運用面に係る記載を拡充。

## H9マニュアルの目次

### 第1章 総説

- 1.1 目的
- 1.2 防災拠点の定義

### 第2章 防災拠点整備の基本方針

- 2.1 整備対象港湾
- 2.2 防災拠点として必要な機能
- 2.3 防災拠点の構成施設
- 2.4 防災拠点の構成施設の規模の考え方
- 2.5 防災拠点の構成施設の配置の考え方
- 2.6 防災拠点の整備

### 第3章 防災拠点の管理・運用

- 3.1 日常時の運用・管理
- 3.2 緊急時の運用・管理



災害対応の時系列の変化に対応できるよう、フェーズ別役割の考え方を追加

『背後圏の人口規模等に基づく考え方』から『当該地域の防災ニーズに応じて計画・整備を行う考え方』に見直し

地域の防災ニーズや港湾ごとの特性を反映できるよう施設規模の考え方を見直し

東日本大震災の教訓やソフト面での防災対策の進展等を踏まえ、管理・運用部分に以下の内容を拡充

- ・老朽化をふまえた適切な維持管理
- ・港湾BCP等への位置づけ
- ・防災協定の締結、防災訓練の実施
- ・津波に備えた取り組み 等

## 今回改訂マニュアルの目次

### 第1章 総説

赤字:主たる変更箇所

- 1.1 目的
- 1.2 防災拠点の定義
- 1.3 大規模災害時における  
防災拠点のフェーズ別役割

### 第2章 防災拠点の計画・整備

- 2.1 防災拠点の計画・整備の基本的な考え方
- 2.2 防災拠点の構成施設
- 2.3 防災拠点の構成施設の規模の考え方
- 2.4 防災拠点の構成施設の配置の考え方
- 2.5 防災拠点の整備

### 第3章 防災拠点の管理・運用

- 3.1 平時からの取り組み
- 3.2 平時の管理・運用
- 3.3 大規模災害時の運用
- 3.4 防災拠点の広域連携による運用